

令和5年度 第10回 理事会議事録

日時：令和6年3月26日（火）19:00～20:30

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、三科、小林(司)、北山、鈴木、菊池、
古屋、大西、平賀(篤)、渡邊、井村、有泉
(部長) 小林、丸茂、平賀(満)
(副部長) 萱沼

書記：秋山

会員管理情報

慶事0件 弔事2件

施設数162 会員数955名（施設902名 自宅53名）

磯野会長より挨拶

- 健康科学大学卒業式への参加について
健康科学大学の卒業式に出席し、卒業生に向けて県士会の活動を紹介した。
- 組織変更と人事の入れ替わりについて
年度末には組織変更が多く、4月1日からの新体制で始まるところもある。
- メディカルデバイスコリドリー推進センターについて
県知事が進めている医療機器の製品化を支援する団体で、医療機器に関するアイデアがあれば相談でき、製品化ができる可能性がある。それが患者さんのための医療改善につながる。皆さんのアイデアが形になることで、より良い医療につながる。理学療法士会の皆さんにも、患者さんのニーズに合った医療を提供するための協力をお願いします。

I. 審議事項

1. スポーツ理学療法部(古屋社会局長)

スポーツ理学療法部では、4月1日より各帯同チームへの活動を開始することになります。総会前での士会活動であるため、理事会にて了承を頂きたい。

質問・意見

磯野：部員の変動はあるか

古屋：現在14名であるが、減少している。

各団体には2名チームで派遣を行っている。

磯野：少ない人数で事業を行うのは大変であるが、引き続きよろしくお願ひいたします。

結論

承認される。

2. 地域支援等推進委員会（小林副会長）

地域支援等推進委員会の今後について

リハビリテーション専門職団体協議会では地域支援等推進委員会が地域リハビリテーション委員会に改名されました。それに伴ってPT士会の地域支援事業等推進委員会を類似の活動をしている部に統合して活動をしていくか検討をお願いしたい。併せて、リハビリテーション専門職団体協議会には地域連携部員が出るのか、

士会選出がよいかの検討をお願いしたい。

三役会議では、福祉厚生局の地域連携部に統合がよいと案が出ている。

質問・意見

鈴木：地域支援事業等推進委員会の事業を地域連携部に統合していくにはそれほど難しくないが、その部員が地域リハビリテーション委員会の参加や把握は難しいと感じる。

秋山：私も鈴木部長、笠井委員長と同意見。ただ、委員会への参加者が士会から選出となるとの基準が必要になるのではないかと。

会長：まずは地域支援事業等推進委員会と地域連携部を統合してよいか検討して、それから事業や選出を考えていくのはどうか。

結論：地域連携部と地域支援事業等推進委員会は統合する。その中で、事業や専門職団体協議会の地域リハビリテーション委員会への人選については、小林副会長、鈴木局長、原部長、笠井委員長の4者で話し合って決める。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

(1) 選挙管理委員会（有泉事務局長）

役員候補選挙日程について

選挙日：令和6年6月12日（水）

公示日：令和6年4月13日（土）

立候補締め切り：令和6年5月13日

締め切り後結果を速やかに告示する。

理事は6名以上20名以内、監事は1名以上2名以内と定めている。

(2) 災害対策支援委員会（小林副会長）

①令和5年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会の報告

日時：令和6年3月3日（日）13:00～17:30

場所：大木記念ホール

講師：佐藤亮先生（熊本J R A T事務局次長）

参加者：26名

②令和5年度第2回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会 報告

テーマ：「能登半島地震におけるJ R A T支援活動報告会」

日時：令和6年3月25日（月）19:00～20:30

場所：大木記念ホール、ZOOMにて参加

講師：栗原正紀先生（一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会 代表理事）

：RRT報告2名、支援チーム報告5チーム

参加者：62名

(3) がんリハ推進委員会（小林副会長）

令和5年度第3回山梨県がんリハビリテーション推進委員会 報告

日時：令和6年3月5日（火）18:30～19:20

WEB 開催

参加者：山田（委員長）、小林（委員会事務局長）三瀬（協議会長、OT 士会長）、磯野（協議会事務局長、OT 副士会長）、磯野（PT 士会長）、内山（ST 士会長）、中嶋（ST 士会幹事）、清水（山梨県健康増進課がん対策担当

議事内容：

- ・研修事業は来年度も継続の方針となり、開講座・専門職研修の企画運営を行っていく
- ・R6 年 2 月 10 日（土）令和 5 年度がんリハビリテーション研修事業の振り返り

公開講座・専門職研修の事業報告書・アンケート内容を確認した。

- ・令和 6 年度事業の検討（テーマ設定）

(4) 働きやすい環境創り検討委員会（井村企画局長） 令和 5 年度働きやすい環境創り検討委員会研修会報告

日 時：2024 年 3 月 15 日（金）19：00-21：00

場 所：WEB 開催

講 師：株式会社 gene 代表取締役・理学療法士 張本浩平先生

テーマ：リハスタッフの働き方改革とコンプライアンス ～サービス残業は美德ではなく誰も幸福にしない～

参加対象：日本理学療法士協会会員

参加者：531 名

QR コードの提示が講義終了時間 21 時までに提示できず、8 分程遅れでの提示となってしまいました。アクションなど最小限に抑えられたと感じる。

(5) グローバル社会における理学療法士の活躍（平賀局長）

主 催：日本理学療法士協会 国際事業課

日 時：2024 年 3 月 5 日（火）19:00～20:40

場 所：WEB 開催

宮城、埼玉、東京、大阪、沖縄の各士会より実際に行っている国際活動についての報告と今後の展望についての話があった。

2. 各局より報告

(1) スポーツ理学療法部(古屋社会局長)

第 77 回スポーツ理学療法勉強会 報告

開催日：R6 年 3 月 18 日（月）19:00～21:00

場 所：WEB 開催

対 象：県士会員、理学療法学生、他

テーマ：「スポーツ理学療法部の活動報告」

講 師：スポーツ理学療法部員 6 人

（小林幸一郎、森田伸哉、深澤朱加、平井郁弥、大森英功、植田祥平）

参加者：50 名

これまでのスポーツ理学療法部の活動を県士会員や県内理学療法士養成校の学生に対して報告した。

(2) 社会局 委託事業部（古屋社会局長）

「令和 5 年度 介護講座」について

介護福祉総合支援センターより講師派遣依頼を受け、赤坂台病院の森本 一二三先生を派遣した。

日 時：令和 5 年 10 月 16 日（月） 9：30～12：30

テーマ：本人の力を引き出す介助の方法 ～寝返り、起き上がり、移乗等～

内 容：介助に必要な基礎知識、日常生活動作の介助方法（講義・実技）

対象者：一般県民

参加者：15 名（男性 4 名、女性 11 名）

参加者の年代は、60 歳代：6 名、70 歳代：4 名と実際に介護をされている年代の方が多く、「大切なポイントが良く分かった」「利用者の負担をやわらかくする接し方を行っていききたい」などのご意見があった。

(3) 企画研修部（井村企画局長）

令和 5 年度第 2 回企画研修部研修会報告

テーマ：診療報酬・介護報酬同時改定から考えるリハビリテーション部門の役割

日 時：2024 年 3 月 10 日（日） 10：00～12：00

講 師：高木 綾一先生（株式会社 Work Shift 代表取締役 理学療法士）

会 場：WEB 開催

参加者：87 名

(4) 公開講座部（井村企画局長）

令和 5 年度山梨県理学療法士会公開講座の実施報告
令和 6 年 3 月 20 日に、（一社）山梨県理学療法士会公開講座×（一社）ヴァンフォーレススポーツクラブ『身体のスペシャリストと学ぶ親子「カラダ」ワークショップ』を実施した。当日の参加人数は 30 組 60 名。

20 組 40 名の募集であったが、好評につき増枠しての対応となった。ヴァンフォーレススポーツクラブからは、今後の継続的な連携依頼があった。

質問・意見

大西：こういう活動を士会の X に載せたい。

結論：個人が特定できないように心がけてほしい。

III. 事務管理局より連絡事項

①令和 6 年度定期総会について

日 時：令和 6 年 6 月 12 日（水）19：00～

場 所：大木記念ホール

②事業報告、決算報告、事業（案）、予算（案）について、作成お願いいたします。

③部員名簿の作成についてもお願いいたします。

IV. 次回の理事会日程について

日時 令和 6 年 4 月 23 日（火）19：00～

場所 Web 会議

連絡 3 月 19 日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。